

平成26年度協力会通常総会が開催されました

平成26年6月19日(木)にJA共済ビル(東京都千代田区平河町)においてJA共済自動車指定工場協力会通常総会を開催いたしました。協議事項の「第45事業年度(平成25年度)事業報告書(案)」について、本島会長立会いのもと、書面議決書による賛否の集計を行い、各都道府県本部協力会会長の満票の承認をもって、可決されました。

また、平成25年度協力会表彰結果について報告がなされました。報告内容については裏面に掲載しております。

研修会日誌

<平成26年度4月～7月の研修会報告>

平成26年度の研修会については、以下の内容で開催し、各研修会とも研修生は熱心に講義・実習を受け、好評を得ました。

総合診断技術研修会

日程 第1回 6/24(火)～6/26(木)

- 内容
- ① スキャンツールの機能理解
 - ② 各種制御系統別の理解
 - ③ 初期化および学習の理解
 - ④ 高速CANおよび低速CAN概要
 - ⑤ 基本的なトラブルシュートの考え方と必要なツールの確認
 - ⑥ 症状別故障診断



総合診断技術
研修会の様子

板金研修会(外板修正コース)

日程 第1回 5/20(火)～5/22(木)
第2回 6/10(火)～6/12(木)

- 内容
- ① 板金作業の基礎知識
 - ② パネル修正方法
 - ③ ハンマーリング実習(フェンダー単体)
 - ④ パテ作業実習(フェンダー単体)
 - ⑤ 外板修正実習(実車)



板金
研修会の様子

メカニカル研修会(ハイブリッドカーコース)

日程 第1回 7/8(火)～7/10(木)

- 内容
- ① 低圧電気取扱特別講習
 - ② ハイブリッドシステムとは
 - ③ トヨタ プリウスの概要・装備
 - ④ 整備上の注意点(実車使用)
 - ⑤ 点検・作業実習(実車使用)



メカニカル
研修会の様子

塗装研修会(ベーシックコースⅠ)

日程 第1回 6/3(火)～6/5(木)
第2回 7/15(火)～7/17(木)

- 内容
- ① 補修塗装について(座学含む)
 - ② 損傷形態別の下処理作業
 - ③ 塗装実習



塗装
研修会の様子

地域密着経営を推進しよう

株式会社ティオ代表取締役 山本 寛

新車ディーラーで営業職を経験した後、カーアフター業界専門コンサルタント会社に営業職として入社し、仙台、大阪、福岡の営業所長を経て指導部部長を8年務める。平成11年に独立し、カーライフビジネス業界専門経営コンサルタントとして35年強にわたり、実務改善指導・部門再構築指導、人材開発指導・マニュアル開発・諸規定策定等担当。また、カーメーカーおよび業界団体、関連企業等の依頼による職能別・階層別・テーマ別の各種セミナー・講演会等を担当。

1. 整備工場が置かれた競争環境と基本戦略

平成7年に新車両法が施行されて今年で19年になります。この間、下記のグラフの通り整備工場の数、保有台数は8,735工場増えて91,933工場、保有台数は11,521千台増の79,625千台となりましたが整備売上高は大きくマイナスとなりました。マイナス幅は1兆1,476億円と大幅にダウンしており、業界全体では5兆4,217億円でした。

台当り整備売上単価は平成7年で96,460円だったものが平成25年68,090円となり、実に28,370円も下がっているのです。保有台数が増えているにもかかわらず整備売上が減ったのは「単価減」が原因です。なぜ単価が減ったのか？それは、車検を中心とした「価格競争」と、軽自動車などのスモールカーの保有率が増えたことに加えて、コンピュータ制御により不具合がお客も整備工場も知覚できなくなり、整備・修理自体が減少していることなどが絡み合っていることです。下表のように整備売上高が右肩下りの傾向の中で、ディーラーの顧客囲い込みの拡大や、カーショップ、ガソリンスタンドなどの第三勢力による整備需要の取り込み拡大が続いています。

某大手カーショップの中期計画では、2018年時点で車検台数目標は百万台(2013年比+42万台)を目標とし、事業戦略においては「クルマのワンストップ・サービス」業態への変革とし、サブタイトルに「お客様に“車”、“メンテナンス”、“楽しさ”を提供する」として、整備と車販の強化を大きな経営目標として掲げています。

こうしたことから、既存整備工場は、

台数減

人口減少に伴って保有台数は減っていく

機会減

高品質化、コンピュータ化によって故障が減る・見えない

車格減

高齢化、燃料高などでスモールカーに移行する

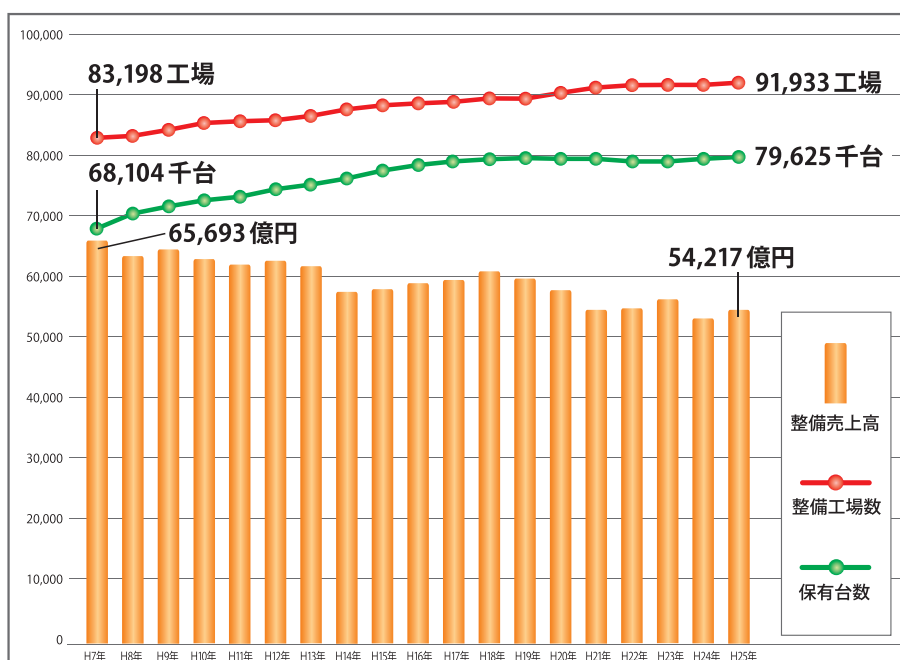
項目減

ロングライフ化、電動化などでメンテナンス項目が減る

の四重苦の状況となっていて、経営の再構築が急務の状況です。

経営の再構築とは、「原点回帰」に他ありません。目新しいこと、奇抜なことに対応するのではなく、整備工場の特性であり強みである「地域密着」がそのキーワードとして、現在の顧客を大事にしていくことです。

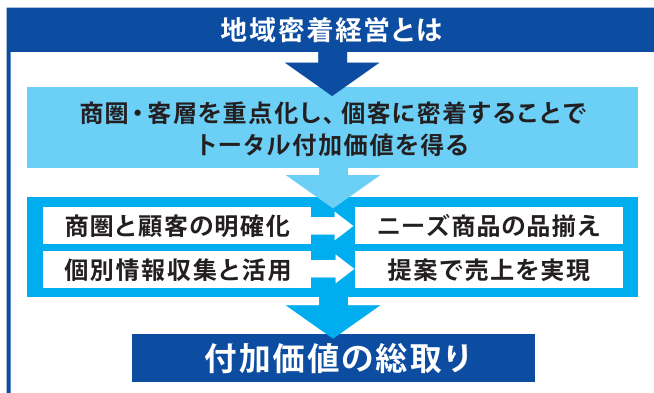
数字で見た整備工場の現状



2.地域密着経営を定義する

地域密着などと言うと古臭いなどと言われそうですが、実際のところ地域密着とは何か、と問われたら明確に答えられるでしょうか？地域密着と聞くと、地域の行事に積極的に参加する、協賛する、あるいは周辺の住民や企業などと仲良く生活する、などのイメージが強くありませんか？

私は、こうしたことは地域で事業する法人としての「義務や責務」的なことだと考えています。まさに「地域密着」は地域への互助、共助活動の一環です。私が言うのは「地域密着＋経営」です。地域密着を経営的に捉える。つまり、経営戦略的思考で捉えることが「原点回帰」です。



3.地域密着経営に必要な3つの要件と一つの前提条件

地域密着経営を推進していくには、次の3つの要件が必要です。一つ目が「客単価を上げる仕組み」です。単純にレバレートを上げることはありません。レバレートを上げない中で単価を上げる仕組みが必要です。基本的には、取逃していた需要を獲得することで「客単価」を上げることです。オイル交換と車検しか取引がないお客様を、タイヤ交換や定期点検整備に入庫してもらう働きかけを仕組みとして構築することです。

二つ目は「疎遠客を作らない仕組み」です。疎遠客になるのは、お客様側に原因があるのではなく店側に原因があります。取引後ほったらかしにしておく、点検DMを出さない、季節の挨拶もない、など些細もないこと（店側が思っているだけ）でお客様の心は離れ、いつしか「そういえばあの人がいないな～」なんてことになってしまいます。できるだけ顔を見せあうコミュニケーションを作ることです。

三つ目は「カーライフのプロとしての提案」をすることです。なるべく安くやってよ、高いオイルでなくてもいいからさ～、そんなに長く乗らないから安いタイヤでいいよ～、などとお客から注文されて「はい、ではそういたします」なんて対応していたら、ネット販売業者になってしまいます。お客様はそう言いつつも、どこかに不安があるものです。その不安に応えるのが「プロとしての提案」です。お客様の使用状況、メンテナンスの頻度、クルマに関する保有知識などを勘案して、ベストマッチな提案をすることで、信頼感が増し、強力なファンになるのです。

地域密着経営とは、“顧客に寄り添うことで、カーライフ需要を取り込むこと”です。定義的に表現すると、「商圏・客層を重点化し、個客に密着することでトータル付加価値を得る」と私は考えています。

そのためにやるべきことは、商圏と顧客を明確化することで、的確な「ニーズ商品の品揃え」が行えますし、的確な提案ができます。これは、在庫コストなどの低減にも必要なことです。また、期日的な情報だけでなく、車両の損耗状態や顧客の趣味や嗜好品などの属性情報を多く収集し、それを活用して商売のチャンスを創っていくのです。

顧客を「量」としか見てこなかったがゆえに、商売のチャンスを取逃してきたのが、現在の整備工場ではないでしょうか。例えば、お客様から「ガソリンスタンドでタイヤが減っている、って言われたんで見てくれる……。」とか、「そろそろオイル交換の時期だと思うので、オイル交換頼むよ」などとお客様が自ラ来店していませんか。これこそが、お客様を「量」としか見ていない証です。この先、従来のような対応、あるいは顧客関係では客離れが心配され、売上を改善することは困難です。

ある田舎町の小さな認証工場での事例ですが、この工場は、エンジンオイルの品数を23種類揃えています。一般的な整備工場の約10倍の品数ですから、よく出るものでも20リッター缶でしか仕入れません。なぜこれだけの品数が必要かといえば、客の特性やエンジン特性によってオイルを選んでいるのです。この工場のエンジンオイル交換は、1万円以上します。それでもお客様は喜んでオイル交換を依頼しに来ます。



地域密着経営において、これらの3つの取り組みを行うことが非常に重要となりますが、これらを実行する上で前提条件となるのが、工場の「CS（顧客満足）が高い」ということとなります。

今まで取り逃がしていた需要を獲得するには、商品（整備技術も含め）がいいことだけではなく、トータルなCSがよくなければ、次の取引は望めません。その意味で、「前提条件」なのです。ある意味、これからの競争は「CS」競争です。これに負けることは、売上を減らすことに直結すると、捉えることです。

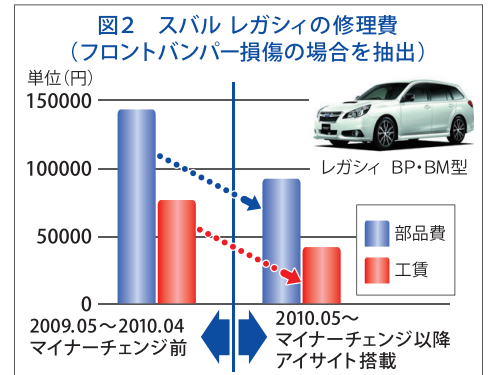
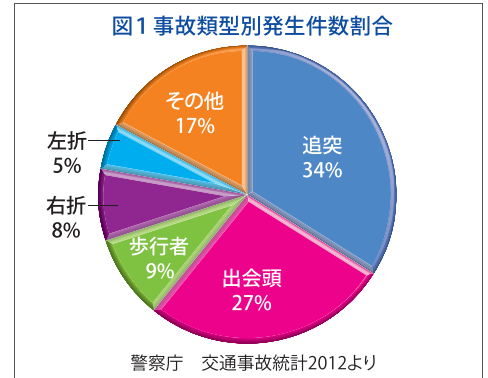
ぶつからない？クルマ

エコカーブームに続いて最近ブームになっているのが、ぶつからないクルマです。「ぶつからないクルマ」とは、自動車を運転中、脇見運転や見落とし、前車との距離の判断ミスなど、ドライバーがブレーキ操作を怠った場合に、ドライバーに警告の後、自動的にブレーキをかけることによって衝突を回避または衝突被害を軽減するシステムを搭載した自動車のことです。各メーカー・車種ごとにシステムの名称や機能は異なりますが、一般的に、自動的にブレーキをかけるシステムのことを総称して「衝突被害軽減ブレーキ」や「AEB (Automatic Emergency Braking) システム」と呼びます。(以下「AEBシステム」という。)

ブレーキの操作ミスによる事故の代表的なものとして追突事故がありますが、その割合は自動車事故全体の34% (図1) です。

AEBシステムは追突事故の防止や被害軽減に高い効果がありますので、装着することによって事故数の減少や被害の軽減に大きな効果があると考えられます。

JA共済の修理費データからAEBシステムの効果をAEBシステム普及の先駆けとなったスバルの「アイサイト」を装着したレガシィを例に検証してみました (図2)。2009年5月に発売されたレガシィは、2010年5月のマイナーチェンジにて、「アイサイト」が採用され、新車の7~8割に装着されるようになりました。マイナーチェンジ前とマイナーチェンジ後の修理費 (フロントバンパー損傷) を比較すると明らかに修理費が下がっています。このようにAEBはその効果の高さから、大型トラックやバスなどから義務化が始まっています。乗用車はまだ義務化には至りませんが、自動車の安全性能評価「自動車アセスメント」(JNCAP)においては評価対象となることが決定しています。また、海外ではAEB装着車両の自動車保険料を割引する制度があります。国内では規制によりまだ実現していませんが、今後は同様の方向性になることが十分考えられます。



1 AEBシステムの機能

AEBシステムは、自車が前方の障害物へ接近して衝突の恐れがある場合に、まず、ドライバーに警告を発します。警告は一般的には、ブザー音やメーターのインジケータ表示で行われますが、同時にシートベルトを軽く引き込むなどの動作をするものもあります。ドライバーへの警告後もブレーキ操作が無い場合は、自動的にブレーキを作動させて減速します。減速して車両の停止まで行い衝突回避するシステムと、減速だけ行い停止はしないシステムがありますが、停止機能を持つシステムでも相対速度が高い場合など、条件によっては停止できない場合があります。

なお、上記以外の機能として、AEBシステムを利用して、アクセルの踏み間違えによる誤発進の防止、車線維持、ふらつきの警告、先行車の発進のお知らせ、先行車追従など、メーカー・車種ごとに様々な機能が付加されています。

2 センサの種類によって異なるAEBシステムの性能と機能

AEBシステムにおいて重要な役割を持っているのが、障害物を監視するためのセンサです。現在AEBに使用されるセンサには、主に3つの種類があります。使用されるセンサによって長所と短所があり、センサの種類によってAEBシステムの性能や機能が左右されますので、コストや必要とされる性能・機能に応じたセンサが搭載されます。

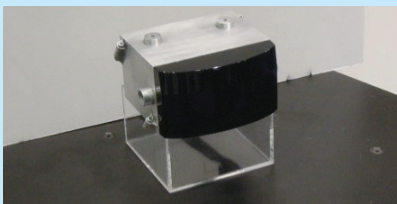
AEBシステムに使用されるセンサの種類と特徴

ミリ波レーダー

ミリ波を前方に照射し、送信波と受信波の周波数の差から相手物の距離や相対速度を検出します。

長所 照射距離が長く遠方を監視できるため、高速走行に対応できます。悪天候や明るさに左右されません。

短所 小さな物体や人などの認識が困難です。センサのサイズがやや大きく、コストはやや高めです。



赤外線レーザー

赤外線を前方に照射し、受光部に戻ってくるまでの時間および入射角度によって距離や相対速度を検出します。

長所 明るさには影響されませんが、悪天候は苦手です。センサのサイズは小さく、低コストです。

短所 小さな物体や人の認識が困難です。照射距離が数十メートルと短いため対応できる速度域は低くなります。



カメラ

カメラの画像から、相手物を検出します。また、複眼化することによって距離や相対速度も検出できます。

長所 解像度が高く、小さな物体が検出できるため、人も検出対象とすることができます。

短所 悪天候や逆光、暗いなど視界不良の場合に影響を受けます。コストは中程度です。



(*車種によっては複数のセンサを併用している場合もあります。)

3 各メーカーのAEBシステム

現在、各自動車メーカーの高級車から軽自動車までAEBシステムの装備は広がっています。オプション設定となっているものが大半ですが、自動ブレーキ機能以外にも多くの機能を持つ高額なものから、数万円で装着できるシンプルなものまで様々な種類があります。

各メーカーの主なAEBシステム

	システム名称	主な搭載車	使用センサーとセンサー取付位置	AEBシステム作動速度領域
トヨタ	プリクラッシュセーフティーシステム	プリウス、マークX、エスティマ、アルファードなど	ミリ波レーダー	15km/h以上
	衝突回避型プリクラッシュセーフティーシステム	クラウン、ハリアー、レクサスGS、LSなど	ミリ波レーダー	15km/h以上
	歩行者対応型衝突回避型プリクラッシュセーフティーシステム	レクサスLS	ミリ波レーダー＋ステレオカメラ＋赤外線灯光器	15km/h以上
日産	エマージェンシーブレーキ	スカイライン	ミリ波レーダー	5km/h以上
		エクストレイル、セレナなど	カメラ(単眼)	10-80km/h
ホンダ	シティブレーキアクティブ	フィット、オデッセイ、N-BOX、N-WGNなど	赤外線レーザー	5-30km/h
	CMBS(衝突軽減ブレーキ)	オデッセイ、アコード	ミリ波レーダー	5km/h以上
マツダ	SCBS(スマート・シティ・ブレーキ・サポート)	アテンザ、アクセラ、CX-5	赤外線レーザー	4-30km/h
	SBS(スマート・ブレーキ・サポート)	アテンザ、アクセラ、CX-5	ミリ波レーダー	15-145km/h
三菱	FCM	アウトランダー	ミリ波レーダー	全速度領域
スバル	Eye Sight (Ver.1~3)	レガシィ、アウトバック、フォレスターなど	ステレオカメラ	0-140km/h (ver.2)
ダイハツ	スマートアシスト	ミライース、ムーブ、タント	赤外線レーザー	4-30km/h
スズキ	レーダーブレーキサポート	ワゴンR、スペーシア、ハスラー	赤外線レーザー	5-30km/h
	レーダーブレーキサポートII	ソリオ	ミリ波レーダー	5-100km/h
	プリクラッシュセーフティーシステム	キザシ	ミリ波レーダー	15km/h以上

4 整備上の注意点

カメラのレンズ部やセンサの照射部に汚れや傷がつかないようにすること、また、ステッカーやアクセサリーなどによって遮られないよう注意が必要です。

フロントグリルやフロントバンパーなど車両の前面にセンサが取り付けられている車種では、比較的軽微な事故でもセンサが損傷してしまうケースがあります。また、センサが損傷してなくても板金や整備作業のためにセンサを脱着することもあります。センサを脱着や交換した場合には、センサの調整作業が必要になる場合がありますので注意が必要です。

なお、一般的に調整作業には、センサ調整に対応したスキャンツールやターゲットなどのSST等が必要になります。調整が必要になる条件や調整の方法については、各システムによって異なりますので、メーカー発行の整備マニュアル等にしてください。

5 AEBシステムと自動運転

AEBシステムはあくまで運転を支援するシステムで、ブレーキ操作しなければならないのはドライバーです。タイトルの「ぶつからない?クルマ」に疑問符が付いているように、AEBシステムには限界があり、装備されていても絶対にぶつからない訳ではありません。自動車メーカーのカタログや取扱説明書等でも「システムに頼った運転はしないというように」といった注意書きがありますので、システムを過信するのは禁物です。他の運転支援機能についても同様で、運転の主体はあくまでドライバーなのです。

しかし、現在、各自動車メーカーでは、AEBシステムを始めとする運転支援システムを発展させた自動運転システムの開発が実用化に向けて進められています。

国土交通省では自動運転の検討会を実施しており、2020年代初頭には高速道路上での自動運転の実現が目標と報告されています。既に自動運転システムを搭載した試作車を発表しているメーカーもあり、技術的には自動運転が可能とされていますので、そう遠くない未来に自動で走る自動車が登場すると予想されます。

指定工場協力会表彰報告

平成26年度協会通常総会において、平成25年度協会表彰結果について報告がなされました。報告内容については以下のとおりとなります。

I. トータルパートナーズ表彰(都道府県別表彰)

県名	表彰対象工場	県名	表彰対象工場
北海道	江別協同自動車株式会社	島根	株式会社日産サティオ島根
青森	戸沼貨物自動車(株)	岡山	(株)亀甲マイカーセンター
岩手	有限会社 姉体自動車工業	広島	有限会社 高岡モーターズ
宮城	(株)佐々木自動車整備工場	山口	有限会社 進和自動車
秋田	協業組合 三交モーターズ商会	徳島	株式会社 坂東モーターズ
山形	有限会社 いしだ自動車	愛媛	(南)長野自動車
福島	有限会社 杉内自動車整備工場	福岡	(南)山下自動車
茨城	さくらオート	佐賀	(南)馬場ボディー
栃木	田原自動車株式会社	長崎	有限会社 住屋オート商会
群馬	(南)高沢自動車	熊本	有限会社 オートケア小島
埼玉	有限会社 新井モーターズ	大分	(南)工藤輪業
千葉	(株)小見川自動車整備センター	宮崎	有限会社 矢野自動車
東京	有限会社 ガレーン山田	鹿児島	鹿児島トヨタ自動車(株)
神奈川	有限会社 二俣川モーターズ	沖縄	合資会社 輝自動車サービス
山梨	久島自動車工場		
長野	飯水自動車整備有限会社		
石川	(株)森村自動車商会		
福井	(株)東信自動車		
岐阜	(株)郡上自動車総業		
静岡	(株)オートサービス湖西		
愛知	(株)富田自動車		
三重	(株)紀州整備工場松阪多気店		
滋賀	(株)平田自工		
京都	日交商事(株)綾部整備工場		
兵庫	株式会社 加藤サービス		
奈良	法華寺モーターズ		
和歌山	玉井自動車整備工場		

II. トータルパートナーズ表彰(特別表彰)

順位	県名	表彰対象工場
1	島根	株式会社日産サティオ島根
2	山形	有限会社 いしだ自動車
3	沖縄	株式会社 次郎工業
4	沖縄	株式会社 ラッキー自動車商会
5	鹿児島	鹿児島日産自動車(株)
6	福岡	(南)糸島モーターズ
7	静岡	(株)オートサービス湖西
8	島根	出雲リベヤール株式会社
9	沖縄	有限会社 愛地モーターズ
10	長崎	有限会社 住屋オート商会

III. ニューパートナーズ表彰(都道府県別表彰)

県名	表彰対象工場	県名	表彰対象工場
北海道	(株)南富自動車サービスエリア	和歌山	船場自動車株式会社
青森	(南)東北車輛	鳥取	平井鍍金塗装
岩手	イワセキ株式会社オートセンター	島根	株式会社日産サティオ島根
宮城	(株)佐々木自動車整備工場	岡山	(南)成羽自動車
秋田	有限会社 小笠原自動車	広島	ブルースカイオート有限会社
山形	有限会社 いしだ自動車	山口	有限会社 進和自動車
福島	有限会社 岩瀬自動車鍍金塗装	徳島	松下ボデー
茨城	有限会社 イトウ車体	福岡	(株)大栄
栃木	大出自動車株式会社	長崎	上対馬自動車
群馬	(南)田島自動車	宮崎	株式会社 中島オートサービス
埼玉	有限会社 篠田自動車	鹿児島	鹿児島日産自動車(株)
千葉	(株)三光自動車工業	沖縄	株式会社 次郎工業
神奈川	有限会社 原自動車商会		
山梨	有限会社 中沢モーターズ		
長野	飯水自動車整備有限会社		
福井	内田自動車(南)		
岐阜	(南)カーエージェント中垣		
静岡	(株)オートサービス湖西		
愛知	(南)大塚モーターズ		
三重	(株)紀州整備工場松阪多気店		
滋賀	(株)平田自工		
京都	日交商事(株)綾部整備工場		
兵庫	株式会社 小林モーターズ		
奈良	前口自動車整備工場		

IV. レッカー・ロードサービス実施表彰(都道府県別表彰)

県名	表彰対象工場	県名	表彰対象工場
北海道	増永自動車工業有限会社	愛知	(南)高塚モーターズ
青森	(南)東北車輛	三重	株式会社 リョウシン
岩手	有限会社 水沢ボデー	滋賀	(株)ヤサカ自動車
宮城	(株)ナルケ自動車	京都	近畿オート(株)
山形	有限会社 大山ボデー	兵庫	株式会社 中川自動車
福島	株式会社 三善自動車工業	奈良	前口自動車整備工場
茨城	株式会社 ラルグ水戸	和歌山	稲葉鍍金塗装工場
栃木	大出自動車株式会社	鳥取	有限会社 長谷自動車整備工場
群馬	有限会社 住屋オート商会	島根	春日自動車有限会社
埼玉	東阿自動車興業株式会社	岡山	(株)藤原車輛
千葉	(南)センチュリーオート	広島	有限会社 見浦自動車
東京	株式会社 ハギワラオート	山口	株式会社 金子自動車
神奈川	カーセンター足柄協同組合	愛媛	月原自動車有限会社
山梨	株式会社 カーロード	福岡	松岡モーターズ(株)
長野	株式会社 モモセボデー	佐賀	(南)馬場ボディー
富山	(南)高雄自動車	熊本	合資会社 人吉ボデー工業
石川	辰口自動車販売(株)	大分	(株)カーポートタナカ
福井	(南)海崎モーターズ	宮崎	有限会社 渡辺自動車整備工場
岐阜	S K Y・J・ワールド(株)	鹿児島	(株)永田モーターズ
静岡	(南)岩井ボデー製作所	沖縄	株式会社 ラッキー自動車商会

V. 搬入優績推進者表彰

順位	県名	推進者名	JA名
1	山口	藤井 博人	JA山口宇部
2	山口	野村 雄太郎	JA山口中央
3	福岡	八尋 茂一	JA福岡市
4	福岡	石塚 聡	JA福岡市
5	福岡	屋敷 茂樹	JAにじ
6	福岡	横山 正和	JA福岡市
7	山口	盛田 義晴	JA周南
8	福岡	畑 正浩	JA福岡市
9	福岡	浦 哲雄	JA糸島
10	山口	田代 博之	JA岩国市
10	山口	大谷 孝雄	JA山口宇部
12	福岡	高橋 真二	JA新ふくしま
12	山口	阿部 修	JA周南
14	福岡	浜田 竜亮	JAふくおか嘉穂
15	福岡	入江 達也	JAふくおか八女
16	山口	永地 宏和	JA山口中央
17	福岡	谷村 尚登	JAたがわ
18	山口	二川 彰義	JA周南
19	山口	白旗 崇志	JA山口中央
20	福岡	毛利 光	JAたがわ
20	福岡	日高 昌武	JAたがわ
22	山口	榎村 真一朗	JA山口中央
23	山口	春永 一史	JA山口宇部
24	福岡	井上 勝幸	JA福岡大城
25	山口	吉岡 保明	JA周南
26	福岡	重富 正明	JA糸島
27	福岡	山崎 樂	JAふくおか嘉穂
28	山口	岩井 仁志	JA山口中央
28	山口	小田 輝行	JA山口宇部
28	福岡	早船 幸男	JA北九

VI. 搬入優績農業協同組合表彰

順位	県名	JA名	順位	県名	JA名
1	山口	JA岩国市	6	山口	JA山口宇部
2	福岡	JA福岡市	7	福岡	JA直鞍
3	群馬	JAたのふじ	8	福岡	JAにじ
4	福岡	JAふくおか嘉穂	9	福岡	JAたがわ
5	山口	JA山口中央	10	山口	JA下関

VII. JA共済連感謝状

県名	工場名	県名	工場名
山形	有限会社 いしだ自動車	福岡	(南)糸島モーターズ
静岡	(株)オートサービス湖西	沖縄	(株)ラッキー自動車商会
島根	株式会社日産サティオ島根		